

平成28年度 実施計画ローリング管理表(3/21時点)

策：変更なし
策：廃止 2件 ※体系図(ソ)(ノ)より
追加 1件 ※体系図(ク)より
変更 1件 ※体系図(サ)より
実施計画：廃止 10件 ※下表(1)より
追加 6件 ※下表(2)より
変更 10件 ※下表(3)より
 ☆平成27年度から28年度へのローリングの際は、3施策、4実施計画が追加となり、9実施計画が変更となった。

H28年度
 施策 23
 細施策 46
 実施計画 78

H29年度
 施策 23
 細施策 45
 実施計画 74

※別紙2-2「6次大綱体系図」の記号と一致しています。

(1) 翌年度に完了(休止、廃止、統合)とする実施計画

ID	取り組み内容	推進担当課	区分	内容(理由など)	記号
9	環境基本計画の見直し、ごみ処理手数料の見直し	生活環境課	廃止	環境基本計画の見直しは平成27年度に、ごみ処理手数料の見直しは平成28年度にそれぞれ完了したため、当該実施計画は その目的を達成したものとして廃止 する。	(エ)
14	eモニター制度による政策決定のシステム化	広報室	廃止	市民政策コメントを充実させるための事前調査の機能に期待し3年間検証してきた。その間、市民政策コメントと連動して実施できた回数が増え期待値に達しなかったことから、仕組みとして機能させることが困難であると判断し、 検証期間を完了 する。	(オ)
17	政策決定過程において、市民の意見を反映する仕組みの再構築	市民総合相談課	統合	広報室が実施する 同内容のID16「広聴・広報一体化基本方針の策定、政策決定過程において、市民の意見を反映する仕組みの再構築」と統合 し、共同で推進する。	(カ)
40	固定資産台帳の整備と公共施設等総合管理計画の策定を促進	行財政改革課	統合	財産経営課が実施する 同内容のID39の「固定資産台帳の整備と公共施設等総合管理計画の策定、施設保全情報台帳の運用、中長期保全計画の策定」と統合 する。	(チ)
42	各種インフラ長寿命化計画の策定(道路アセットマネジメント計画)	道路課	廃止	道路アセットマネジメント計画の策定は完了したため、 この目的を達成したものとして廃止 する。今後はこの計画に基づき効率的な道路修繕など適正管理を継続していく。	(テ)
50	合併事務事業調整事項の見直し	地域振興課	廃止	合併時からの調整案件であった「簡易水道料金」の統一が完了したため、 当該取り組みの目標を達成したものとして廃止 する。	(ト)
52	基金管理計画の策定	行財政改革課	廃止	計画の策定が平成27年度に終わり、運用段階に入っているため、 ルーチン作業の扱いとして大綱上での管理を終了 する。	(ナ)
66	PDCAサイクルを活用した業務推進	行財政改革課	統合	行財政改革課が実施する 同内容のID47の「行政経営システムの本格運用」と統合 する。	(ノ)
70	人事評価制度の見直し	職員課	統合	同課が実施する ID74の「人事評価制度の見直し、新給与体系の研究」と内容が重複しているため統合 する。	(ハ)
77	債券運用指針の策定、債券運用の実施	出納室	廃止	指針の策定が終わり、運用段階に入っているため、 ルーチン作業の扱いとして大綱上での管理を終了 する。	(ソ)

(2) 新規にIDを設けて取り組む施策・実施計画

ID	現在の取り組み内容	推進担当課	内容(理由など)	記号
ID分け新取組	すごい！鳥取城キャンペーンの実施	文化財課	政策企画課が実施しているID3「シティセールス戦略プランの…」と分けて管理する。取り組み内容として、 鳥取城跡復元・整備中のための寄付を募るための検討 を行う。	(イ)
ID分け新取組	道路アダプトの推進	道路課	協働推進課が実施しているID7「協働のまちづくりの推進」と分けて管理する。取り組み内容として、 道路アダプト制度への登録路線の増加を目指す取組を検討 する。	(ウ)
ID分け新取組	高齢者の介護予防を目的とした社会参加の促進	地域包括ケア推進課	部署の再編により高齢社会課のID25「高齢者外出支援」から分かれた新ID。取り組み内容を「高齢者の介護予防を目的とした社会参加の促進」に変更する。現在、高齢者の外出支援のための取り組みとして、高齢者バスの割引優待などを行っているが、今後、 高齢者の社会活動の状況(例：市が委託又は補助により行う高齢者運動教室事業の参加者数など)を調査し、新たな指標を設定したうえで施策の進行管理を行う。	(ニ)
新	まちづくりファンド創設の検討	中心市街地整備課	中心市街地にて 遊休不動産を利活用し、まちの魅力の向上に取り組み事業者を支援するための制度を検討 する。制度の創設にあたっては、既存の公的融資制度の活用や民間ファンドの可能性など関係機関と連携しながら検討を行う。	(セ)
新	電子決裁の推進	総務課出納室	内部事務システムの更新に併せて、現在運用中の 文書管理電子決裁のより一層の推進を図る。またこれまで導入していなかった支払い関連事務の電子決裁について検討 を行う。	(ネ)
新	市職員の働き方改革の推進	職員課	ワークライフバランスの取り組み として、柔軟な勤務時間の採用や長時間労働の削減、積極的な休暇取得を推し進める。	(ヒ)

(3) 現行IDの中で新たに取り組み内容

ID	現在の取り組み内容	推進担当課	内容(理由など)	記号
3	シテイセールス戦略プランの策定に基づく取り組み 鳥取市地域ブランド創出・活用方針の見直し	政策企画課	シテイセールスプランの策定は平成28年度で完了し、平成29年度から当該プランに基づく「SQのあるまちの取り組み」を推進する。(H29:鳥取市ブランドロゴ・キャッチコピーの作成、ブランドプロモーションの企画立案・実施・検証、シテイセールス専門組織の拡充、ブランドスローガンの共有化、プロジェクトチームの編成)	(ア)
19	第3次鳥取市経済再生・雇用創造戦略に基づく事業の推進、起業支援の強化	経済・雇用戦略課	現行の取り組みは維持しつつ、ワークライフバランスや多様な働き方を民間事業者に広めていくアドバイザーを配置し「働き方改革」を推進する。	(キ)
28	外国人観光客によるクチコミ情報発信の促進、ファミリアーの対象区域の拡大検討と体験型ツアー	観光戦略課	Facebookやファミリアーなどは継続しつつ、今後、鳥取DMO設立も見据えた新たな外国人向けプロモーションの検討や、「民間企業と共同の外国語対応アプリ開発の実証実験」を行う。また、民間の事業展開に寄与するために外国人観光客の統計情報オープンデータ化を検討する。	(ケ)
36	各種公共施設内のスペースなどへの小規模ネーミングライツの検討	財産経営課	施設の一部スペースにネーミング等をさせることによる歳入の確保に加え、管理作業などのサービスを受けたり、公用車などへの広告事業も含め、市有財産に対し民間の資金や技術等を受けることにより財源の確保や財政負担の軽減につなげる「民間活力による市有財産の有効活用」を検討し、進めていく。	(サ)
37	農林水産物の国内外への新規販路開拓、高値流出ルート確保	生産流通振興室	今後より一層の販路拡大や農業者の所得向上を目指すには、生産した農林水産物の付加価値が必要である。平成29年度は生産者や加工の技術、素材などのマッチングを推進するため、「6次産業化ネットワークシステム(6次化バンク)の構築」を進め、また新たな商品・ビジネス開発に際しては現在設立準備中の地域商社とも連携しながら効果的な事業展開を目指す。	(シ)
38	魅力ある地元産品の開発、販売促進	経済・雇用戦略課	さらなる商品開発や販売促進を目指すには、加工食品のほか農産物なども含めた鳥取り産品の生産・加工から流通・販売さらにブランド化までを総合的にプロデュースしていくことが効果的である。また市民委員から「販路拡大は商品開発からPR・販売まで一連の流れが必要」との意見もあることから「地域商社設立の支援」を新たな取組として加える。	(ス)
39	固定資産台帳の整備と公共施設等総合管理計画の策定、施設保全情報台帳の運用、中長期保全計画の策定	財産経営課	現行の財産経営課の取り組みは継続しつつ、新たに「 地方卸売市場の今後の役割と機能を含むあり方の検討 」を追加する。なおこの取り組みを推進するにあたっては経済・雇用戦略課との連名とする。	(タ)
41	市営住宅長寿命化計画の策定	建築住宅課	長寿命化計画は策定を完了したため、今後の修繕等はこの計画に沿って行っていく。次年度からは老朽化した公営住宅を効率的に更新するため、取り組み内容を「 公営住宅の効率的な更新方法の検討 」と変更する。平成29年度は民間資本を利用した“借り上げ型公営住宅”の導入可能性の検討を行う予定。	(ツ)
56	市独自の環境マネジメントシステムの運用	生活環境課	平成30年度に中核市に移行した際には、庁内の体制(部署の構成など)が大きく変わることが想定される。これに併せて、「 環境マネジメントシステムの見直し 」を行う。(取り組み内容や指標なども含め目指すべき方向性を検討するとともに、手続きの簡素化も検討する。)なお、成果指標は現在電力消費量としているが、天候により大きく変動するものであることから、管理できる指標となりくいいため、今後は紙の使用量削減強化に向けた指標の見直しを検討する。	(ヌ)
75	砂像のまちとつとりの推進	鳥取砂丘・ジオパーク推進課	砂像ブランドを定着させるため、また砂像彫刻家の発掘・育成のきっかけとなるよう、『砂像』を核とした多くの人が参加できる事業展開が必要である。また、市民委員から「砂の美術館のPRをもっと上手にすべき」「地域住民の盛り上がりを促すべき」との意見も踏まえ、「 砂像サミット・砂像選手権大会 」を平成29年度に実施する。	(コ)